

環境研究総合推進費2G-2201シンポジウム 「適応策の優先度を決めるには何が必要か？」

- **気候変動影響**は**顕在化**。気象の極端化，健康・農林水産業・生態系への悪影響
- 悪影響を軽減するために如何に備えるか▶▶▶**適応への取組**が**喫緊の課題**
- **地方公共団体**は**最新の科学的知見に基づき**（気候シナリオや影響予測），地勢や社会経済状況などの地域特性も考慮して**適応計画の立案・実施**が必要
 - ✓ 多くの**専門的知識と経験が必要**とされるためその**推進は困難**
 - ・ 最新の科学的知見を総合して実現可能な適応策を選ぶ必要性
 - ・ 科学的知見の含有する様々な不確実性，適応策別のコストと効果，限界，実施にかかる時間，適応策間の相乗効果やトレードオフ
- ◆ **意思決定の科学的支援**▶▶▶地方公共団体担当者が自ら適応策を選択・実施
- ◆ **環境研究総合推進費2G-2201：適応の効果と限界を考慮した地域別気候変動適応策立案支援システムの開発（FY2022-2024）**



環境研究総合推進費2G-2201シンポジウム
「適応策の優先度を決めるには何が必要か？」

- **意思決定支援 = 科学的な知見の使い方【プロジェクトの概要紹介】**
 - ▶▶▶ 気候シナリオや影響予測結果と適応策のリストを準備した後、どの適応策から取り組めばよいかどうやって決めるのか？
- **現場に必要な情報は？【パネルディスカッション】**
 - ▶▶▶ 地方公共団体担当者の視点から見た必要な情報とは？
- ◆ シンポジウムを通じて様々なニーズをいただき研究に活かしたい